

私は週末、愛地球博記念公園で観光ボランティアをしています。2005年に愛知万博が開催された場所ですが、生まれが長久手市の私にとっては子供のころよく遊んだ「青少年公園」の跡地といったほうがなじみがあります。

11月1日にジブリパークが開園し、一躍注目の観光スポットになりましたが、ディズニーやUSJのようなテーマパークとは全然違います。もうただの公園です。「次はどのアトラクションに乗ろうか」「パレードは何時？」とあくせくせずにのんびり散策することができて、本当にいい場所です。赤いジャケットのボランティアスタッフがいたら私かもしれません。声をかけてみてください。

✿苦手な人を克服する✿

人に何かを依頼してやってもらうという行為は、自分の側にだけメリットがあるように感じられますが、時と場合によって頼み事は苦手な相手との仲を取り持つのに有効な手段となります。

米国にベンジャミン・フランクリンという政治家がいました。100ドル紙幣に肖像画が描かれているほど有名な人物ですが、州議会議員だったころに、彼のことを非常に嫌っている人物がおり、何かにつけてやり方にケチをつけてくる対応に苦慮していたそうです。

ある時、敵対する議員が入手が困難な貴重な本を持っていることをフランクリンは聞きつけ、「その本を私も読みたいので、数日貸していただけないでしょうか」と手紙を書きました。非常に丁寧にお願いした甲斐があり、フランクリンはその議員から本を借りることができました。しばらくして、今度はその本を返す時、フランクリンはこれまた手紙を書きました。それは本を借りる時よりもさらに丁寧な感謝の言葉が書かれていました。

すると、次に議会の場で顔を合わせたとき、今までフランクリンのことを毛嫌いしていたはずの議員が自分のほうから彼に近づき、物腰柔らかかに話しかけてきました。

このように、苦手としている人物やそりが合わない人物に何か頼み事をして、それによって相手との距離を狭める方法を「ベンジャミン・フランクリン効果」と呼びます。

一般的に人は苦手な相手とは自然に距離を取ろうとしてしまいます。しかし、フランクリンが行ったのはまったく逆の方法でした。苦手な人が1人もいない人は世の中にあまりいないでしょう。それならば、ベンジャミン・フランクリン効果を使ってあえて何か頼みごとをしたらどうでしょう？そして頼み事を引き受けてもらったときは丁寧に敬礼をします。そして心の距離がゼロになるようにしてみましょう。



次回の訪問は12月19日（月）です。今年度最後の相談となります。

相談の申し込みは担任、養護、相談担当の先生方にたずねてください。

スクールカウンセラー 寺島 達也より